



Upside Japan  
THE TECH INSIDER www.upsidejapan.com

！ホーム！UPSIDEについて！UpsideToday米国版！

！コラム！ビジネスモデル！注目の企業！キーパーソン！業界動向！アジア最新ニュース！ITな暮らし！



### 注目記事

- ・MSNが音楽配信サービスに参入
- ・ネットのコンテンツで金は取れるのか?
- ・マイクロソフトがトランスメタと提携!
- ・iモードがアメリカにやってくる!

- ・ハイテク株よ、底の底まで落ちてくれ
- ・略語の山に埋もれたB2Bマーケット



デジタル用語辞典:




Upside Japan / コラム

## ある一か月間のドタバタ日記 中村伊知哉@LANTIC【第25回】

2000年12月28日

### 連日パネルディスカッションと打ち合わせ

**1日～2日** ポストンからシカゴ経由、関空から京都に向かい、eビジネスでの商品コード標準化運動をしているeccma関係者と会談( 1)。祇園、芋。

1 eccma: Electronic Commerce Code Management Association。電子商取引における商品コードの標準化に取り組む非営利団体。公式サイトは<http://www.eccma.org/>

**3日** デジタルフロンティア京都2000( 2)というイベント。グヌーテラ(Gnutella)開発チームの一人、ジーン・カン氏が初来日( 3)。東大助教授の武邑光裕氏、伊藤稷一氏、スコット・フィッシャー氏、サム・インキネン氏とともにパネル出演。西院、おでん。三条河原町、カルバドス。

2 ニューエコノミーとデジタル文化をテーマに、シンポジウムや展示を行なうというイベント。昨年に引き続き、今年で2回目の開催となる。イベントの内容は、ASCII24の[レポート記事](http://www2.kyo.or.jp/archives/dfk/)を参照されたい。公式サイトは<http://www2.kyo.or.jp/archives/dfk/>

3 グヌーテラは、ネットワークに接続されたコンピューターをピア・ツー・ピアで結び、様々なデータを共有できるようにするフリーソフト。中心となるサーバー要らずで、巨大な分散型ネットワークを構築できるというすごい代物。

**4日** 朝一番で東京へ。円山町で開かれた音楽制作者連盟の大イベント「in the city japan 2000」に参加( 4)。デジタル最前線、業界もろとも中抜きされかねない音楽業界は、熱い。東大の藤末健三助教授らと新規ビジネスについて会談。目黒、さんま。

4 音楽制作者連盟(略称:fmp)は、200社以上の音楽プロダクションが加盟する公益法人。公式サイトは<http://www.fmp.or.jp/>。in the cityは渋谷のON AIRで開催され、91組のアーティストによるライブや、パネルディスカッションなどが行なわれた。

**5日** 新宿にて、MIT戦略会議。それからin the city japan 2000にてパネル司会。飯野賢治さん、橋本典明さん、松田美佐さん、中井猛さん、三浦文夫さん。ポストンにある投資信託銀行の案件で、郵政省の貯金局と簡易保険局を訪問。担当室長はいずれも同期。ソバ。

**6日** 関西学研都市に作る子供センター「CAMP」の件で新宿にて打ち合わせ( 5)。渋谷にて音楽業界誌のインタビュー。自分の部屋でマスコミや外資系証券やブータローの方々と飲む。すし。

5 CAMPは、(株)CSKと(財)大川情報通信基金の共同事業で建設される研究・教育施設。マサチューセッツ工科大学(MIT)で2003年にオープン予定の「MIT大川センター」と研究姿勢・思想を同じくし、日米の共同研究にも活用される。

**7日** 朝まで飲んでいたら、津田雅美「彼氏彼女の事情」全9刊を買ったと言って、某委員会の某氏が通勤途中に持参してくれたのでむさぼり読む。銀座博物館でタカラのコマのおモチャ、ベイブレードを購入。In the city打ち上げ。ピザ。

**8日** 眠らぬまま朝。成田に向かいシカゴ経由ポストン。機内にて眠らず原稿。ポストンの自宅に着くと、メールが多数とどいている。返事を打つうち夜中になり、東京が起き始め、またその返事が押し寄せ、それをムキになって打ち返していたら朝。四日半おきている。バカだ。と思ったら悪寒。高熱。ダウン。寝る。コニヤックのみ。

**9日** ポストン入りした東大・藤末助教授チームと、ハーバード大学やバブソン大学( 6)に滞



在中の大蔵省・通産省・郵政省の方々と話し込む。ゆでエビ。

6 ポストン郊外のバブソン・カレッジは、主に起業家教育と企業のエグゼクティブ研修に力を入れており、ベンチャー経営学では全米最高レベルとして知られている。同校の大学院には日本人留学生も少なくない。公式サイトは<http://www.babson.edu/>

10日 熱。ポストン美術館にて原稿。自宅にてホームページの整理。カレー。

### MITでは連日コンソーシアム出席

11日 MITメディアラボの2週間にわたるスポンサー会議開始。世界のIT企業が集合(7)。CSK-SEGAグループ代表団とレズニック教授との会談。デジタル楽器開発に関し、マッコーパー教授と打ち合わせ。マグロ。

7 MITメディアラボには、100社以上の企業がスポンサーとして出資している。[スポンサーの一覧はこちら](#)。

12日 メディアラボのウォルター・ベンダー新所長と会談。前所長のネグロポンテ氏は、ダブリンにてケガしたため姿を見せず。「考えるモノ」会議([Thing That Think](#))。ロブスター。

13日 同会議と成果展示。各種打ち合わせ。サケ塩焼き。

14日 並催中のMITスローンeBusinessセンターの幹事会。アーバン所長らに日本でのビジネスを打診。メディアラボ「デジタルライフ」会議([Digital Life](#))。夕刻、ニューヨークへ。地ドリ。

15日 ソーホーにある「ママメディア」社CEOのハレル博士と折衝。TBSの方々とデジタルテレビ等の情報交換。その足でまたポストンへ。シーフード中華。

16日 ポストン美術館にて原稿。自宅にてホームページの整理。メディアラボ卒業生会議へ。起業家が集合。キノコ料理。

17日 ワシントンDCへ。中東情勢不穏、大統領選間近。ホテルにて関係者打ち合わせ。パスタ。

18日 自然科学団体のナショナル・ジオグラフィックにて、クジラやペンギンがカメラ背負って海に行くプロジェクトについて折衝。岩波新書「メディア・リテラシー」の著者・菅谷明子さんと面会。日本大使館の方々とIT情勢に関し情報交換。パスタ。

19日 ポストンへ。ラボ「未来のニュース」会議([News in the Future](#))。アスキー西さんが来ている。すし。

20日 MITとハーバードの共催「デジタル・ネイションズ」会議([DIGITAL NATIONS](#))。デジタルデバイスに関する新コンソーシアム。大物並ぶ。日本政府の方にも頼んで来てもらったが、どうにもアメリカによる途上国囲い込みのニオイが強い。西さんと片っ端からシノゴノ根回し。すし。

### フジテレビがMITを取材

21日 MITにてイベント「eDevelopment」([eDevelopment](#))。デジタルデバイス。もう10年も前、テレピアとか電気通信格差是正事業とかを担当していた頃の議論と変わらんと、エビカニバカ貝。

22日 同会議。今日はハーバード大学にて。ラボに戻りビデオレポートの編集。ぞうすい。

23日 ポストン美術館にて原稿。自宅にてホームページの整理。誰かこの二つ、代わりにやってくれ。パスタ。

24日 近所の台湾人のITコンサルタントとリンゴ園にて議論。リンゴとカルバドス。ブドウとワイン。メシと日本酒。

25日 フジテレビのラボ取材。未来のメディアに関する番組制作への協力。メディアラボの各種プロジェクトを披露。カレー。

**26日** フジテレビの取材、二日目。レポートCD-ROM制作。焼き肉。

**27日** サンフランシスコへ。ホテルリッツにて大川賞授賞式。西海岸の学者さんたちと交流。ヒツジ、グラッパ。大川情報通信基金の白井会長(元郵政次官)らとナパバレーにて日本酒。

**28日~29日** 東京へ。ネット系ベンチャー、ゲーム業界、音楽業界の方々と朝まで生ワイン。

**30日** 目白にて、郵政省時代に行革を生き抜いた戦友の婚礼でスピーチ。その後、郵政省幹部から次期国会提出法案について教えてもらう。プロの仕事だ。ゾクゾクするほど血が騒ぐ。赤坂にて雑誌数冊買う。新橋にてラボの韓国人研究員に頼まれた「フリクリ」のDVDと北野武「ソナチネ」買う( 8)。渋谷にてガングロ探し。ワインのみ。

8 フリクリ: ガイナックスの制作によるオリジナルアニメ。約2ヵ月ごとにビデオとDVDを同時発売し、全6巻で完結するという独特の発表形態を取っている。最新回の第5巻は12月21日に発売されたばかりで、最終話となる第6巻のみ、2000年3月16日と間を置いて発売される予定。公式サイトは <http://www.gainax.co.jp/flcl/>。

## 中村伊知哉 プロフィール



マサチューセッツ工科大学 客員教授  
'61年生、京都市出身。京都大学経済学部卒。

在学中はロックバンド“少年ナイフ”のディレクターで活躍。  
'84年、郵政省入省。'93年からパリに駐在し、'95年に帰国後は郵政大臣官房総務課課長補佐を務める。'98年、郵政省を退官し、(株)CSK特別顧問に就任。同年、マサチューセッツ工科大学 客員教授に就任。

著書に『インターネット,自由を我等に』(アスキー出版局)などがある。趣味は、ずばり“メディア”。

ホームページ: <http://www.media.mit.edu/ ichiya/jpn.htm>

- ▶ [かぞえ直しが続くあいだに\(11月28日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)
- ▶ [オレの声が聞こえたか高橋\(10月25日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)
- ▶ [カッコワリーってモンダガ\(10月4日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)
- ▶ [Re率となんじゃこりゃ度\(9月25日\)](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

- ▶ [中村伊知哉@LANTIC【連載リスト】](http://www.upsidejapan.com/upside/column...) (<http://www.upsidejapan.com/upside/column...>)

(中村伊知哉)

! ASCII24 ! ASCII24 Business Center ! 日刊アスキー Linux ! アスキーデジタル用語辞典 !  
! auto-ASCII24 ! Shes.net ! ASCII Job Serve. ! アスキートップ !

! [個人情報の取扱について](#) ! [編集部へのコンタクト](#)([info@upsidejapan.com](mailto:info@upsidejapan.com)) ! [広告掲載のご案内](#) !

Copyright (C)1993-2000 Upside Media Inc.  
Copyright (C)2000 ASCII Corporation.  
All rights reserved.